

3318	小川卓也(他22名)	ブロッコリー	おはよう 他
------	------------	--------	--------

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

2 / 3

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
産直有機8-8-5	ホルムアルデヒド加工尿素肥料・化成肥料・硫酸加里・肉骨粉・魚粉・骨粉・硫酸モロトシ・石灰・土壌改良剤及びその他	大東肥料(株)	8	2.4	8		5		80	元肥	160	8月	1	3.8				
苦土石灰	石灰石原石・ドロマイト原石	九州日紅							100	土壌改良	160	8月	1	0.0				
カキライム	カキ殻	日化工業							100	土壌改良	200	8月	1	0.0				
アグリハーモニー2号	水溶性苦土・水溶性微量要素・ケイ素	三菱商事アグリサービス(株)	0							元肥	120	8月	1	0.0	120	8/17	1	0.0
グリーンコンボ	鶏糞	秋川牧園							100	元肥	400	8月	1	0.0				
アミノ職人7-7-7			7	3.3	7		7		37.1	元肥	200	8月	1	6.6	160	8/17	1	5.3
消石灰										土壌改良	140	8月	1	0.0	134	8/2	1	0.0

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	5	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	24	
計画使用量	12	

*節減対象農薬

節減対象農薬	計画使用回数	当地比	5	削減
土壌消毒剤				
除草剤				
殺虫剤				
殺菌剤				
その他薬剤				
合計	8		18	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	Zボルドー	塩基性硫酸銅		軟腐病・斑点細菌病・べと病・黒腐病・褐斑細菌病	500	100~300g	随時	2	0	500	267L	10/13	1	0	-	-
殺菌	スターナ水和剤	オキシリニック酸		軟腐病・黒斑細菌病・花蕾腐敗病	2000	100~300g	随時	1	1						2	2
殺菌	ナレート水和剤	オキシリニック酸・有機銅		軟腐病	1000	100~300g	随時	1	2						2	2,2
殺菌	レーバスフロアブル	マンジプロバミド		べと病	2000	100~300g	随時	1	1						2	2
殺菌	オラクル顆粒水和剤	アミスプロム		根こぶ病	200~500	-----	随時	1	1						1	7
殺菌	アフェットフロアブル	ベンチオピラド		菌核病・黒すす病・根朽病	2000	100~300g	随時	1	1	2000	100L	9/11	1	1	3	3
殺菌	パレード20フロアブル	ピラジフルミド		菌核病・黒すす病	2000~4000	100~300g	随時	1	1						3	3
殺菌	ピシロックフロアブル	ビカルブトランクス		べと病	1000	100~300g	随時	1	1						2	2
殺菌	コサイド3000	水酸化第二銅		花蕾腐敗病	1000	100~300g	随時	1	0						-	-
殺菌	ヨネポン水和剤	ノニルフェノールスルホン酸銅		べと病・黒腐病	500	100~300g	随時	1	1						4	4
殺菌	フジドールフロアブル	塩基性硫酸銅		黒斑細菌病	500	100~300g	随時	1	0						-	-
殺菌	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ		菌核病・黒すす病	3000	100~300g	随時	1	1	3000	200L	9/26	1	1	3	3
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		アブラムシ類	4000	100~300g	随時	1	1	4000	267L	10/13	1	1	3	3
殺虫	ウララDF	フロニカミド		アブラムシ類	2000~3000	100~300g	随時	1	1						2	2
殺虫	ヨーバルフロアブル	テトラニプロール		ヨナガ・アオムシ・ハマダラメゾ・ハスモンヨトウ・アブラムシ類・ネキリムシ類	200	-----	随時	1	1						1	4

備考:

品種のリレーについて
 ピクセル→SK9-099→アーリーキャノン→サマードーム→恵麟→おはよう→プライム(試作)→すばる(試作)
 →しき緑→アーサー→グラドーム→むつみ

リストの中から、最大で化成窒素量12kg/10a、節減対象農薬8回(成分カウント)までの使用。
 (上記基準としていますが、実際は10kg/10a、6回程度で収まります。)

肥料・農薬は、川村良栄さんの圃場(127a)の栽培実績です。
 5.3kg、6回。2024/10/22現在。
 川村さんの作業計画 耕起 8/2~9/15、播種 7/22~8/1、定植 8/19~9/18、収穫 10/24~2/20

播種日の関係から、今期最初は「おはよう」からのスタート。以降は、上記リレー順での収穫予定。

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など(購入の場合はメーカー名記入)

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績				
											使用量	使用時期	回数	化成量kg	使用量	使用時期	回数	化成量kg	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬(成長調整剤、展着剤等を含む)

使用量/10a

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限			
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分		
殺虫	ヨールフロアブル	テトラニプロール		アザジアメコナゾール・アオムシ・ハスモンヨトウ・シロイヌナガメ・アオムシ・ハスモンヨトウ・シロイヌナガメ・アオムシ・ハスモンヨトウ・シロイヌナガメ・アオムシ・ハスモンヨトウ	2500~5000	100~300g	随時	1	1							3	4	
殺虫	アフーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩		コナガ・アオムシ・ヨトウムシ・オオタバコガ	1000~2000	100~300g	随時	1	1							3	3	
殺虫	ファームエクセラ顆粒水和剤	エマメクチン安息香酸塩・ルフエヌロン		アオムシ・ハスモンヨトウ・コナガ・ハイマダラノメイガ	1000~1500	100~300g	随時	1	2							3	3,3	
殺虫	プレオフロアブル	ピリダリル		コナガ・ハスモンヨトウ	1000	100~300g	随時	1	1							2	2	
殺虫	プレバソフロアブル5	クロラントラニプロール		コナガ・アオムシ・ハスモンヨトウ	100		随時	1	1	100	0.5L	8/26	1	1	1	1	4	
殺虫	プレバソフロアブル5	クロラントラニプロール		コナガ・アオムシ・ハスモンヨトウ	2000	100~300g	随時	1	1	2000	267L	10/13	1	1	3	4		
殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン		ヨトウムシ・ハスモンヨトウ	1000~2000	100~300g	随時	1	1							2	2	
殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン		コナガ	1000	100~300g	随時	1	1							2	2	
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド		ウツバメコナゾール・アオムシ・ハスモンヨトウ・シロイヌナガメ・アオムシ・ハスモンヨトウ・シロイヌナガメ・アオムシ・ハスモンヨトウ	2000~3000	100~300g	随時	1	1	2000	200L	9/26	1	1	2	2		
殺虫	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド		コナガ・ヨトウムシ・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨトウ	2000~3000	100~300g	随時	1	1							2	3	
殺虫	ゼンターリ顆粒水和剤	バダリス・チューリングゲル生芽菌および菌生殺菌剤		コナガ・オオタバコガ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・シロイヌナガメ・アオムシ	1000~2000	100~300g	随時	1	0							-	-	
殺虫	チューンアップ顆粒水和剤	バダリス・チューリングゲル生芽菌および菌生殺菌剤		コナガ・ヨトウムシ・ハイマダラノメイガ・オオタバコガ・アオムシ・ウツバメコナゾール	2000~4000	100~300g	随時	1	0							-	-	

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	収穫	
2月	収穫	
3月	収穫終了 ~R7.3/10	
4月		
5月		
6月		
7月	播種	播種 7/22~
8月	播種、耕起、施肥、定植	播種 ~8/25、耕起 8/2~、定植 8/19~
9月	耕起、定植、防除	耕起、定植
10月	耕起、定植、収穫開始、防除	耕起 ~10/10、定植 ~10/15、収穫開始 10/24~
11月	収穫、防除	
12月	収穫	

耕起開始:	令和6年8月2日
終了:	令和6年10月10日
播種開始:	令和6年7月22日
終了:	令和6年8月25日
定植開始:	令和6年8月19日
終了:	令和6年10月15日
収穫開始:	令和6年10月24日
終了:	令和7年3月10日